

1. 施設概要

施設名	三田市有馬富士自然学習センター			施設分類	施設管理型
所在地	三田市福島1091番地2				
指定管理者	公益財団法人 兵庫県園芸・公園協会				
指定管理者所在地	明石市明石公園1番27号			選定方法	非公募
指定期間	令和3年4月1日 から 令和8年3月31日 (5 年間)	主な 業務内容	・ 施設の利用にかかる受付業務 ・ 施設の利用および運営計画に関する業務 ・ 施設、設備、備品その他の物品の維持管理に関する業務		
利用料金制	採用				
施設所管課	市民生活部文化スポーツ課			電話	079-559-5145

2. 指標					
施設の設置目的	自然と親しみ、自然環境について学ぶことにより、自然の営みを尊重する心を培い、もって青少年の健全育成とふるさと意識の醸成に寄与する。				
管理運営における基本理念	市民が身近な自然に関心、愛着を持つよう、有馬富士公園の恵まれた自然環境を活かした生物・環境に関する学習展示設備を提供する。				
評価指標（下記の指標を【増加】又は【減少】させる管理運営を実施）			R7年度	R6年度	R5年度
1 来館者数	【増加】	（人）	100,547	95,224	89,244
2 施設来館が「楽しかった」と答えた利用者の割合	【増加】	（％）	100	99	100

3. 管理運営状況			現指定管理者	現指定管理者	現指定管理者	
施設 利用状況	項目	詳細	R7年度	R6年度	R5年度	
	利用者数(人)【全体】	施設全体	100,547	95,224	89,244	
	利用件数(件)	学習室	101	151	140	
	利用者数(人)	学習室	3,995	7,789	6,471	
	有料施設稼働率(%)	学習室	23	37	31	
指定管理者 の収支状況	(単位：千円)		R7【計画】	R7【実績】	R6【実績】	R5【実績】
	収入		24,986	25,027	25,008	24,990
	指定管理料	24,900	24,900	24,900	24,900	
	施設利用料金	86	127	108	90	
	事業収入等（受講料その他）	0	0	0	0	
	支出		24,986	25,027	25,008	24,990
	人件費	10,933	11,105	11,163	11,142	
	光熱水費	6,362	7,240	6,698	5,766	
	施設修繕費	1,000	995	938	1,000	
	施設維持管理費・事業費等	6,691	5,687	6,209	7,082	
	差引き	0	0	0	0	
市の使用料収入（利用料金制を採用していない場合）						

利用者 満足度 調査結果	実施時期	回答数	主な調査内容及び満足度（普通以上の割合）		
	令和7年7月 ～8月、12月	383件	スタッフの対応や身だしなみ		100%
			来館後の感想		100%

(P2：評価内容)

指定管理者制度モニタリング【様式3】

指定管理施設評価 年間評価シート

令和7 年度評価（令和8 年度実施）

施設名	三田市有馬富士自然学習センター	施設分類	施設管理型
指定管理者	公益財団法人 兵庫県園芸・公園協会	施設所管課	市民生活部文化スポーツ課

4. 各項目における評価内容				
評価の観点	評価項目	項目区分	指定管理者セルフ評価	市評価
Ⅰ.基本的なサービスの提供	(1)施設運営に係る協定事項の遵守	適正管理	3 適正	3 適正
	(2)利用者の安全確保	サービス効果	5 優れている	4 やや優れている
	(3)利用承認、案内等の対応と接遇	サービス効果	4 やや優れている	3 標準
	(4)市、関係団体、地域等との連絡調整	サービス効果	4 やや優れている	3 標準
	(5)施設の目的に沿ったサービスの提供	サービス効果	4 やや優れている	3 標準
	(6)目標の達成度	サービス効果	4 やや優れている	4 やや優れている
Ⅱ.施設の管理	(1)建物保守管理・設備機器類の安全管理	適正管理	3 適正	3 適正
	(2)収納・文書・備品の適正管理	適正管理	3 適正	3 適正
	(3)清掃・衛生管理・警備	適正管理	3 適正	3 適正
	(4)指定管理者が行う修繕	サービス効果	4 やや優れている	3 標準
	(5)コスト削減、環境配慮の取り組み	サービス効果	3 標準	3 標準
Ⅳ.満足度向上への取り組み	(1)苦情等への対応	サービス効果	5 優れている	3 標準
	(2)利用者獲得及び収入増加に向けた取り組み	サービス効果	4 やや優れている	4 やや優れている
	(3)利用者ニーズに応じた改善	サービス効果	4 やや優れている	4 やや優れている
	(4)利用者の満足度	サービス効果	5 優れている	4 やや優れている
(得点率＝評価項目の評定の合計÷満点×100)			得点率	75%
			総合評価	A

評価項目（項目区分別）における評価区分	
適正管理【3段階】	サービス効果【5段階】
	5 優れている
	4 やや優れている
3 適正	3 標準
2 課題有	2 やや劣っている
1 要改善	1 劣っている



総合評価における評価区分	
得点率	→ 総合評価
概ね80%以上 ※	→ S 優良
概ね70%以上 ※	→ A 良好
概ね60%以上 ※	→ B 標準
概ね50%以上	→ C 要努力
概ね50%未満	→ D 要改善

5. 総評

指定管理者による所見

・基本的なサービスの提供の各項目は、適正に運用することができ、目標は概ね達成できた。

・施設の管理については大規模改修工事期間中の安全管理の徹底とお客様への告知や案内を徹底したことで、事故等なく工事を終えることができた。

・コスト削減では、電気代について、今年度は高騰を見越して計画を立てたが、基本料金の高騰に加え今夏の猛暑などの影響や大規模改修工事での器具類の使用に伴う使用量の増加により計画を上回っている。今後も来館者に影響のない範囲で節電には心がけたい。

・満足度向上への取組では大規模改修工事後の来館者のニーズの把握や新たな施設の予約システムでの対応も含めて、来館者に満足していただけるよう運営していきたい。

市による所見

【成果】

・指定管理者とソフト事業受託者(人と自然の博物館)との連携により、来館者への声掛けや子どもが気軽に参加できる事業(めり絵・クイズ等)を継続実施したり、土日祝のイベントを定着化させたことにより、来館者数10万人を達成することができた。

・利用者アンケートでは、夏季、冬季の2回ともに「とても楽しかった」「楽しかった」と答えた来館者の割合は100%であった。

・利用者アンケート結果を指定管理者とソフト事業受託者と共有し展示内容に反映する等、PDCAを意識して取り組んでいる。

【課題】

・引き続き、施設の老朽化に適切に対応しながら、利用者が安全安心に利用できる施設管理を行っていく必要がある。

・新公共施設予約システムの導入効果を活かし、貸室の稼働率向上に取り組む必要がある。

【今後の方向性】

・引き続き指定管理者とソフト事業受託者との連携により、来館者の満足度が高まるよう施設が持つ特性を十分に活かした取り組みを行うとともに、SNS等の活用など積極的に施設のPRを行い、新規来館者やリピーターの増加を目指す。